６課「一緒に！」

＜行動目標＞

友達を誘ったり、行きたいところやしたいことを一緒に相談したりして、約束することができる。

＜3 つのスモールトピック＞

ＳＴ１「一緒に行きませんか」
　　友達を誘うことができる。また、誘いを受けたり断ったりすることができる。
ＳＴ２「どちらがいいですか」
　　友達の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談することができる。
ＳＴ３「約束」
　　会う場所や時間などを約束することができる。

話してみよう

第６課のテーマは「一緒に！」です。【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる６課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。3 枚のイラストをここでもう一度見てみましょう。

ここでは新しく友達になった人やクラスメイトと一緒にしたくなったり行きたくなったりするようなイラストを用意しました。イラストを見ながら、好みや経験をたくさん話してもらって、「私も行きたいです」「私もしたいです」「じゃあ、一緒にします、いいですね」などと話が広がるといいと思っています。

ある教室でのやり取りをご紹介します。

Ｔ　：（イラストを指して）どこですか。
Ｌ１：（イラストを見て）そば屋です。
Ｔ　：ああ、これは「中華そば」で、ラーメンです。
Ｌ１：ああ、ラーメン屋！

Ｌ２：私はラーメンが好きです。
Ｔ　：へえ、そうですか。Ｌ２さんはラーメン屋へ行きましたか。
Ｌ２：はい。
Ｔ　：どこのラーメン屋へ行きましたか。
Ｌ２：新宿のラーメン屋へ行きました。
Ｔ　：ふーん。（教室全体に向かって）Ｌ２さん、新宿のラーメン屋へ行きました。
　　皆さん、質問がありますか。
Ｌ３：おいしかったですか。
Ｌ２：はい、とてもおいしかったです！
Ｌ１：何のラーメンを食べましたか。
Ｌ２：えー…わかりません。
Ｌ３：一人で食べましたか。
Ｌ２：いいえ、友達と食べました。
Ｔ　：Ｌ２さんは、そのラーメン屋へまた行きたいですか。
Ｌ２：はい、行きたいです。
Ｔ　：そうですか。
Ｌ３：私も行きたいです。
Ｔ　：ああ、いいですねえ。私も食べたいです。
Ｌ２：Ｌ３さん、ラーメンを食べに行きますか。
Ｌ３：はい、行きます！！

イラストはそのやりとりをするきっかけを作るためにあります。やりとりの中から学習者自身の話が出てきたら、それについて話ができるように、教師が促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。6課の【話してみよう】では、この周りの人たちと一緒に行きたくなるように話をすすめてほしいと思っています。

聞いてみよう

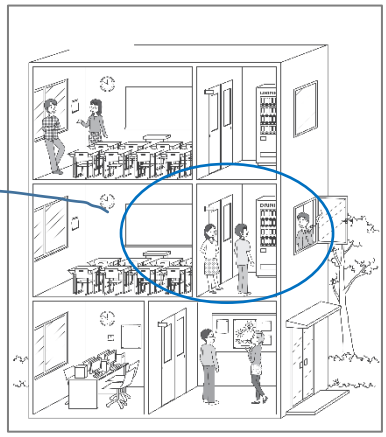
【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。この段階になると、言葉の数も増えてきますから、会話全体が全部聞き取れなくても、単語レベルでは聞き取れていると思います。ＣＤを聞いたあとで、どんな言葉が聞こえたか、学習者に問いかけてみるのもいいと思います。聞いたあとには、大体の流れ（パクさんがアンナさんを誘って、二人がコンサートに行く）をつかみ、ST1に入っていってください。

ＳＴ１　一緒に行きませんか

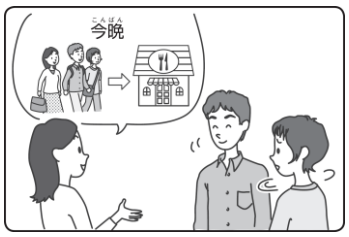
できること：友達を誘うことができる。また、誘いを受けたり断ったりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：教室で、クラスメイトを誘っています。



1



コマイラスト：休み時間、ワンさんがクラスメイトのダニエルさんとパクさんを食事に誘っています。ダニエルさんは行けますが、パクさんは一緒に行くことができません。

ワンさんの吹き出しにあるイラストを見たとき、学習者は5課で習ったことを上手に使って、チャレンジをします。学習者が「今晩、一緒にご飯を食べに行きますか」と言えたら、ぜひほめてください。ワンさんが誘っていることに注目をするために、ワンさんがダニエルさんとパクさんと一緒に何をしたいかすると聞いてから、ＣＤを聞くと「～ませんか」の意味が理解しやすくなると思います。学習者の【チャレンジ！】が終わって、CDを聞く前に、1の学習項目（ここでは誘うための表現）に注目してもらっておくために問いかけることがとても大切になります。

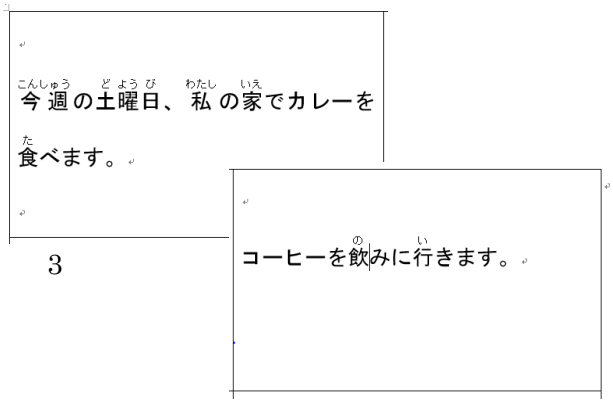
学習項目　Ｖませんか　Ｖましょう　～はちょっと…

言ってみよう　別冊1

ここでは、「～ませんか」「～ましょう」の練習です。２つのキューと１つの自由に考える練習ですが、数的には多くないので、学習者に合わせて適当な練習数にしてください。

こんなふうに

自分で考えて相手を誘うという練習をしたのですが、授業では学習者が日本語が思いつくまでに時間がかかる



ことがありました。そこで、
このようなカードを用意して配布し、
この内容で相手を誘うという練習をしてみました。

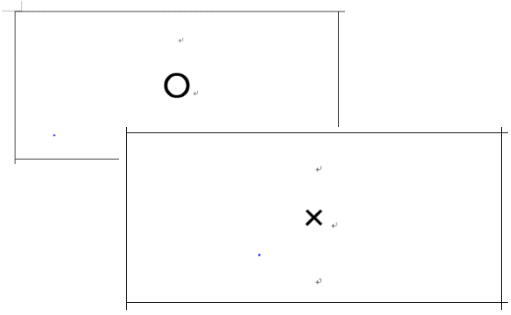
言ってみよう　本冊1

本冊1での練習では、「～はちょっと…」があります。「ちょっと」が学習者の母語によっては直接の訳語がないこともあるかもしれません。日本語で、誘いを断るときに使われる表現だと紹介するといいでしょう。「ああ」のイントネーションも学習者にとって、難しいようです。例を一緒に音読するとき、注意してください。教科書には、キューが「今週の金曜日・映画」「来週の日曜日・サッカー」のように動詞が載っていません。どんな動詞を使うかを教室全体で確認してから練習するのも、一つの方法です。

例を見るとき、教科書の文字ばかり追っているということはないでしょうか。せっかく【チャレンジ！】でどんな状況かを知ってから、入ったのに、【言ってみよう】に入ったとたん、状況がどこかへ・・・・なんてことはありませんか。
１では、「誘う」→「誘いを受ける」、「誘う」→「断る」といった会話の流れを頭の中に入れると、やり取りがもっと楽しめるのではないかなと思います。

こんなふうに

教科書の練習をしたあとに、今度は教師が書いたキューと、このような「○」「×」を書いたカードを用意し、ペアの一人に配布をしました。「○」のカードを持っている人は誘いに応じられる人、「×」のカードの人は誘いに応じられない人というようにしました。
断られた人は、誘いに応じてくれる人がいるまで、相手を探すというようにしたら、積極的に相手に声をかけている学習者の姿も見られました。



チャレンジ！

2

コマイラスト：ワンさんに食事に誘われたパクさんは、一緒に行けないことを話します。今晩、パクさんはアルバイトです。

【チャレンジ！】2は、ワンさんに誘われたパクさんが誘いを断っています。チャレンジ2はチャレンジ1のイラストから会話が続いています。2のチャレンジをするときに、1からするようにしてください。

「ああ、今晩はちょっと…」と言った続きに何を話すかに注意を促してください。どうして一緒にできないのか、理由として自分の予定を話すときに使う「～があります」が学習項目になっています。

学習項目　Ｎがあります

言ってみよう　別冊2

別冊2での練習では、スケジュール帳を見ながら、どんな予定があるかを言う練習です。日付やイベントの内容を学習者の日常に合わせるのもいいですね。

言ってみよう　本冊2

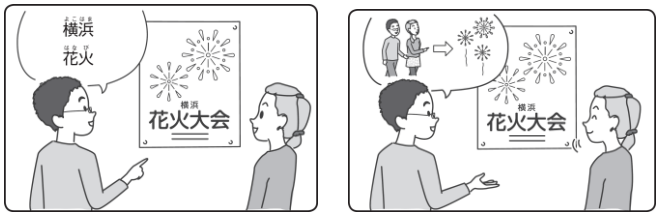
誘われたとき、その誘いを断るというのは、外国語で言うのはなかなか難しいと思います。この本冊の会話には、「できる」シリーズの特徴の１つである「相手への配慮」が現われてりると思います。ここでももう一度例）の会話を見てみましょう。

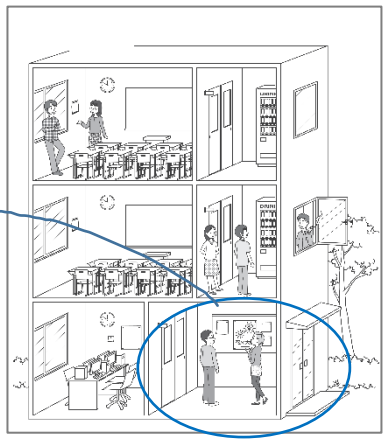
Ａ：今晩、カラオケに行きませんか。
Ｂ：ああ、今晩ですか。すみません。今晩はちょっと……。用事がありますから。
Ａ：ああ、そうですか。残念です。じゃ、また今度。

Ｂは一緒に行きたいけれども、用事があって、行くことができません。誘われたことに対して、「ああ」というフィラーを用いて残念な気持ちを表し、その理由を伝えています。また、ＡはＢが一緒に行けないことに対して、「残念です」「また今度」というように、次への機会があることを言い、断るＢへの心理的負担を軽くしようとしています。やり取りの練習をするときに、ぜひ言い方にも気をつけるように促してください。

チャレンジ！

3





コマイラスト：学校の廊下に貼ってある花火大会のポスターを見ながら、ナタポンさんがアンナさんを誘っています。

ＳＴ１の状況イラストは教室でクラスメイトを誘っている様子が描かれています。3のチャレンジでは１階にいる２人が話しているところです。（青い線で囲ってあるところです）【チャレンジ！】をする前に、状況イラストをもう一度見て、どこで二人が話しているかを全体で確認してください。２人が掲示板の前で話しているということを確認してから、コマイラストを見ます。

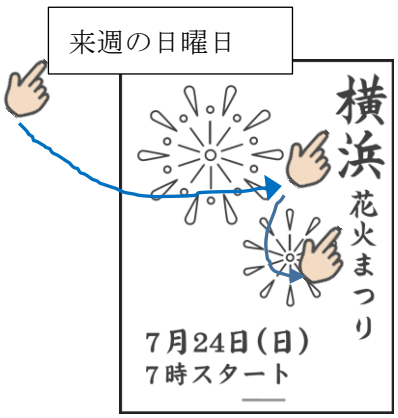
【チャレンジ！】3は、２枚のコマイラストです。１枚目に学習項目が含まれていますが、【チャレンジ！】をする際には、２枚目まで会話を再現してください。「横浜」は場所、「花火」はイベントを表していることに注意を向けてください。

学習項目 [場所]で～があります

言ってみよう　別冊3

ここの練習では、ポスターを見ながら、どこでどんなイベントがあるかを言う練習です。

こんなふうに



授業で練習をするとき、別冊にあるイラストを見せながら練習をしています。でも、見せただけでは、学習者はどこにフォーカスをしたらいいか、わからず戸惑ってしまい、「お口の練習」にならないこともあります。

左の拡大イラストを見ながら練習する際、「来週の日曜日」、「横浜で」、「花火があります」のように、いつ、どこで、何が、の部分を教師が指で指していきました。そうすると、学習者がスムーズに言うことができるようになりました。指差しをすることで、学習者の頭の中で

どのように言うかが整理され、口が動きやすくなるようです。「来週の日曜日ぃ、横浜でぇ、花火がぁ」とならないように、スピードにも気をつけています。

祭りやセールなどは、学習者が勉強している場所のイベントを用いると、リアリティが増します。

言ってみよう　本冊3

掲示板に貼ってあるイベントのポスターを見ながらの会話です。A の「あ」はおもしろそうなイベントに気がついて発しています。それを聞いたBは関心を持って「へえ」と答えています。ここでは マークがありませんが、2 番目の A の「一緒に見に行きませんか」の「見に行き」の部分は、イベントに合わせて適宜動詞を変えるようにしてください。

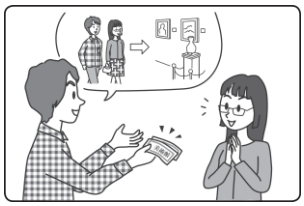
よく学習者から「(場所) に~があります」[4 課 ST2 5] と「(場所) で~があります」の何が違うのかということを聞かれます。そのようなときには、教師が一方的に答えを言うのではなく、6 課 ST1 3 に出てきた文をもう一度、見てみましょう。

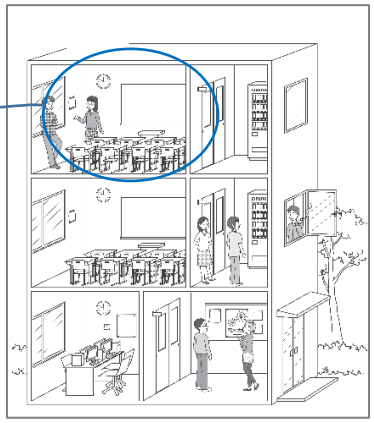
・横浜で野球の試合があります。
・浅草でお祭りがあります。
・ニコニコショッピングビルでセールがあります。

これらの文を学習者と一緒に見ながら、「~が」の「~」の部分にはどんな名詞が使われているかを問いかけてください。学習者が自分で発見できたら、意識化につながり、あとで間違えないようになると思います。

チャレンジ！

4





コマイラスト：マルコさんがマリヤムさんに絵が好きかどうかを聞いてから、美術館へ誘っています。

【チャレンジ！】4 も 2 枚の【チャレンジ！】です。1 枚目で、相手の好みを聞いています。ここの学習項目は 2 枚目の「～が（～枚）あります」ですが、相手の好みを聞いてから誘っ

ているのだというところも大切にしたいところです。ぜひ 1 枚目のコマイラストでの会話も誘いにとって大切なことだと伝えてください。

2 枚目のマルコさんの手にはチケットが 2 枚あります。学習者が気がつかなかったら、チケットの部分を教師が手で示すなど、注目を促してください。「チケット」はここで初出です。本来、【チャレンジ！】は既出の語彙でチャレンジできるようになっているのですが、たまに初出の語彙が使われていることがあります。

学習項目　～が（～枚）あります

言ってみよう　別冊4

助数詞の位置をしっかり確認してください。2 課 ST 3 4 で学習した「○○を 2 つください」のときに、助数詞が入ると助詞の位置に注意が必要だということを学習しましたが、ここでももう一度確認することをおすすめします。

言ってみよう　本冊4

ここの練習では最初の A のキューはありません。チケットや CD、DVD のイラストを見て、最初に何を質問したらいいか学習者が自分で考えなければなりません。例えば、①の「コンサートのチケット」を見て、「コンサートが好きですか」とか、②の「CD」を見て、「CD が好きですか」と言ってしまう学習者がよくいるので、注意が必要です。そのときも、すぐに教師から答えを言うのではなく、本当にそのような言い方をするかなと考えてもらうようにしてください。

与えられたキューを用いて、そのまま練習をするのではなく、本冊の練習の中でも「こんなとき、どう言ったらいいのか」ということを大切にしたいと思います。

こんなふうに

偽物のチケットを作って、教室で練習をしてみました。2 枚チケットがある人、3 枚チケットがある人、ＤＶＤがある人など、一緒に見に行ける人、一緒に見られる人を探すという練習をしてみました。

やってみよう

CD は、２つの例と５つの会話があります。タスクは「２人は一緒にしますか、しませんか」という簡単なのですが、ここでは、誘うときに、どんな表現を用いていたかに注目をしてください。相手の好みを聞いたり、自分がしたいことを相手に伝えたり、天気の話をした

り、相手の都合を聞いたりするなど、会話の最初のバリエーションに注目してもらってください。

タスクの答え合わせが終わったら、学習者にどんな表現があったかを聞いてみましょう。1 回で聞き取るのは難しいので、もう一度聞いてください。2 回目に聞くときには、「今日は暑いですね」「お祭りが好きですか」「明日は忙しいですか」といった日本語に注意がいくと思います。１つ１つの会話ごとに聞いて、確認していってもいいでしょう。

ロールプレイをするときに、積極的にこれらのことを相手に聞きながら誘うという流れにできるといいと思います。

お役立ち情報

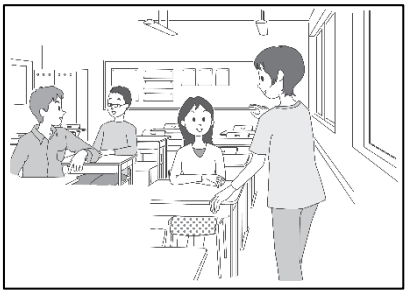
「できる」シリーズの副教材の中に『たのしい読みもの 55』があります。この中にある「日本で暮らす５　野球を見に行きましょう」p.19 では、友達から誘いのメールをもらったとき、どんな返事があるかを読むことができます。教室で一緒に読んだあと、自分だったらどんな返事を送るか書いてみるのもいいと思います。

ＳＴ２　どちらがいいですか

できること：友達の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談することができる。

チャレンジ！

状況イラスト：教室で休み時間にパクさんがワンさんを誘っています。



1

コマイラスト：パクさんがワンさんに一緒に DVD を見ようと思って、ワンさんの好きな映画のジャンルを聞いています。

パクさんの趣味は映画です。休みの日、クラスメイトのワンさんを誘って一緒に DVD を見ようと思っています。ここの【チャレンジ！】は 3 コマもありますが、1 コマ目と 3 コマ目は既習項目を使って話せる内容です。(1 コマ目の「映画が好きですか」は 5 課の ST3 で、3 コマ目の誘いは 6 課の ST1 で提出されています。) 相手がいちばん好きな映画のジャンルを聞いて、一緒に見ようという会話の流れなので、ぜひ 3 枚のコマイラストでチャレンジをしてください。

学習項目　　～で～がいちばん A です

言ってみよう　別冊1

1は練習 1、練習 2 とあります。練習 1 では単文の練習です。意味がわかったら、いちばん好きな物は学習者によって違うと思うので、ぜひ自分がいちばん好きな物を紹介してもらったらいいと思います。練習 2 は、疑問文では聞く内容によって異なる疑問詞を用いる練習です。①は「東京でどこがいちばんおもしろいですか」、②は「1 年でいつが暑いですか」、③は「このレストランの料理で何がいちばんおいしいですか」となっています。

こんなふうに

練習２では、まずは疑問詞と形容詞を「何」と「好きですか」に固定して、学習者に「~で」の「~」の名詞だけをどんどん変えていきながらたくさん話す練習をしてもらっています。例えば、

Ｔ　：何、好きですか。
Ｌ１：Ｌ２さん、日本の食べ物で何がいちばん好きですか。
Ｌ２：すしがいちばん好きです。
Ｔ　：Ｌ３さん、何、好きですか。
Ｌ３：飲み物で何がいちばん好きですか。
Ｌ４：スイカジュースがいちばん好きです。
~~~~~~~

慣れたころに、疑問詞だけを少しずつ変えていきます。

~~~~~~~
Ｔ　：どこ、好きですか。
Ｌ２：日本でどこがいちばん好きですか。
Ｌ１：北海道がいちばん好きです。
Ｔ　：誰、好きですか。
Ｌ４：歌手で誰がいちばん好きですか。
Ｌ５：安室奈美恵がいちばん好きです。
~~~~~~~

最後に形容詞もいろいろにします。このようにすると、少しずつ難しくなっていくので、学生達は頭の整理をしながら、楽しく上達していっていると思います。

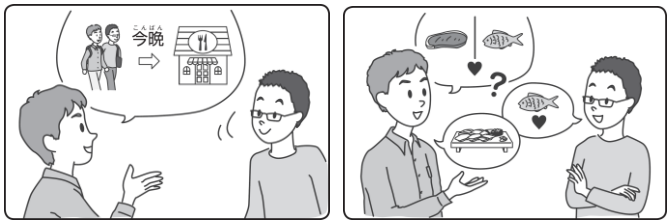
学習者によっては、音だけだと意味がすぐにわからなくて、練習がスムーズにいかないということがあるかもしれません。そんなときには、疑問詞は文字にして示すなど、学習者に合わせて、適切な練習を行ってください。

言ってみよう　本冊1

ここでは、Ｂに 💬マークがあるので、答えのキューはありません。Ｂ自身の答えを言うところです。④は「新宿の居酒屋」です。東京以外の場所だと、この問いに答えるのは難しいので、その場所に合わせた地名を用いてください。 ☺ マークがあるので、 ①から④の練習が終わったあとには、練習をしている相手のことを聞くように促してください。
~~~~~~~

チャレンジ！

2



コマイラスト : ダニエルさんがナタポンさんを食事に誘っています。ダニエルさんはナタポンさんが好きな物を聞いています。

【チャレンジ！】のあとでＣＤを聞くときに、2 コマ目のダニエルさんの吹き出しに注目がいくようにしてください。ここでは、食事に誘ったダニエルさんは、何を食べるかを決めるのに、ナタポンさんの好みを聞いています。このように相手の好みを聞くときに、比較の「~と~とどちらが〇〇ですか」という学習項目が必要になります。

『教え方ガイド』p.48 にあるように、ここでの【チャレンジ！】ではスムーズに言えることが多いので、ＣＤを聞くとき、２つの物を比較しているときにどのように聞いているか、また答えているかを学習者自身が発見できるといいと思います。

学習項目　～と～とどちらがＡですか
～のほうがＡです

言ってみよう　別冊2

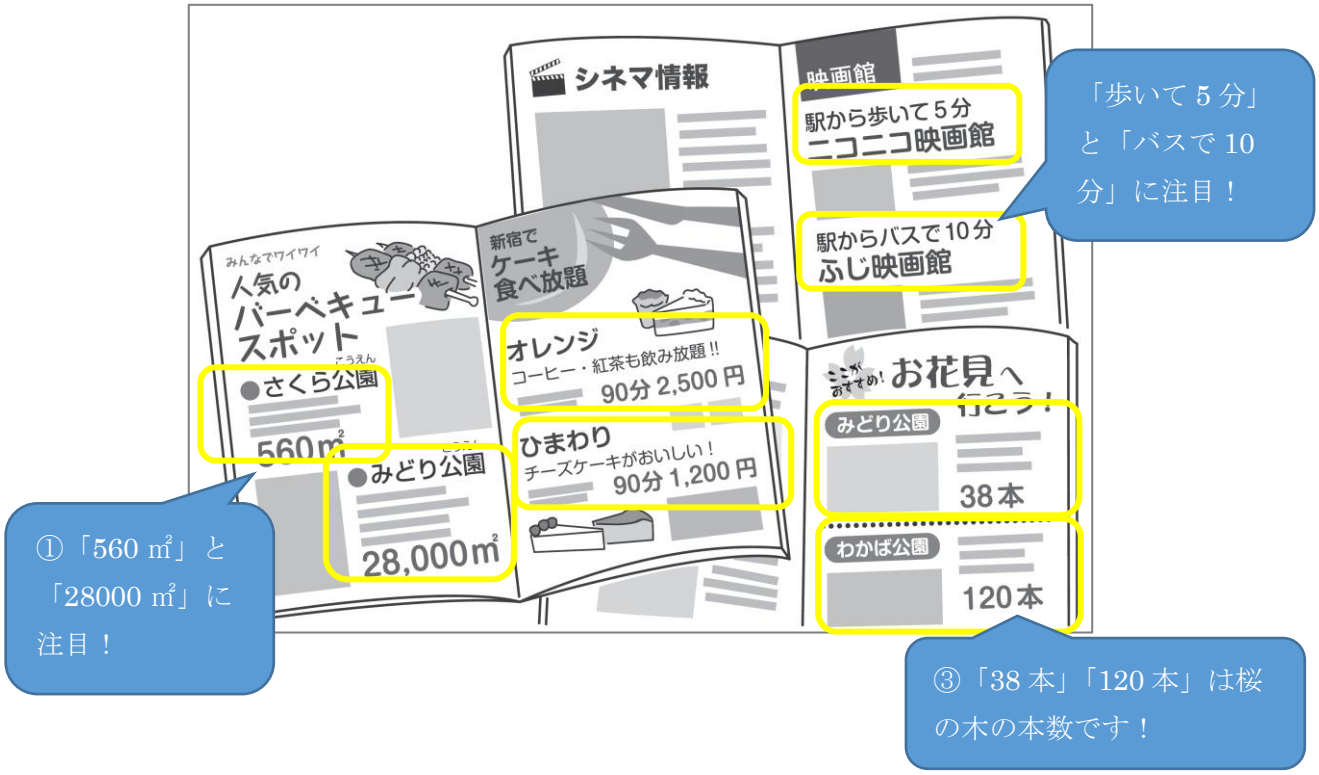
別冊の練習では単文の練習が多いのですが、ここでは、AB のやりとりの練習になっています。口が動くようになったら、教師が「肉・魚/好き」「山・海/好き」「日本語・英語/難しい」といったキューを口頭で出し、学習者同士でいろいろな人に聞くという練習もできます。自分と同じ答えの人がいると、「私も肉のほうが好きです」などと答えている様子が見られたこともありました。答える際には、5 課で学習した「~から」を使って、理由も一緒に言うこともできます。既習の学習項目を使うチャンスです。

言ってみよう　本冊2

ここでは、雑誌を見ながらどこへ行くかを決める会話になっています。まずは、下の雑誌のイラストを見て、どんな情報があるかを見てみてください。教室での練習の際には、教科書にあるイラストを大きくして、学習者と一緒に見られるようにしておくといいと思います。教師が「A さんとＢさんは今、この雑誌を見ています」と言いながら、例）の会話文を一緒に確認していくと、学習者はどこにどんな情報が書かれているかがわかって、練習がス

ムーズにできると思います。

ターン数が多い会話ですが、練習がうまくできると、学習者も「言えた！」という達成感が持てるようです。

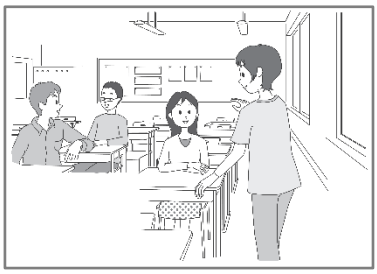


ここでの談話の流れは、「誘う→どこでするか/どこへ行くか→候補が 2 つある→比較して相談→行き先を決める」です。教師の中でこの流れを整理しておくと、授業がぜんぜん変わってきます。雑誌上に「候補が 2 つ」示されているので、その情報を比較していると わかれば、教科書の例に頼らなくてもスムーズに練習ができるようになります。

【言ってみよう】本冊の練習を行う際には、この 3 のように、教師がまず、その会話の流れを頭で整理しておきましょう。学習者がつまづいたとき、何を言ったらいいのかということを促すことができます。

比較をどこで使うか…を考えたとき、誰かと何かをするとき、選択肢が 2 つあったら、そのうちのどちらがいいかを選ぶと考えました。6 課のテーマは「一緒に！」です。友達と何かをするとき、誘って（ＳＴ１）、それから友達の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談をするというのが ST２のゴールです。この雑誌のレイアウトは、実際の言語行為を再現したものです。教科書のキュー以外にも、学習者が住んでいる地域にある公園や店、施設などがキューとして使えたら、現実に即した練習になると思います。

チャレンジ！



3

コマイラスト：一緒に晩ご飯を食べに行くことになったダニエルさんとナタポンさんはインターネットで寿司屋を探しています。今、2 軒の寿司屋が見つかり、どちらがいいかを決めています。

状況イラストはだいたい 1 枚なのですが、ＳＴ２では 2 枚あります。1 枚目は、ダニエルさんが教室でナタポンさんを誘っていて、2 枚目は、一緒に食事をすることになった 2 人がパソコン教室でどこへ食べに行くかを探している状況を表しています。3の会話は2からの続きなので、【チャレンジ！】の際には、2 枚目の状況イラストとチャレンジ2のコマイラストも一緒に合わせて見ていってください。

【チャレンジ！】3の 2 コマ目のチャレンジの際、学習者は2で練習したことを用いて、「みどり寿司のほうが安いです」と言うかもしれません。このとき、教師がイラスト中にある「みどり 200 円」「さくら 300 円」の部分を指していくと、「みどりずしはさくらずし…安いです」という声が出て来るでしょう。みどり寿司がさくら寿司と比べて安いということをしっかり見てから、ＣＤを聞いてください。

学習項目　　～は～より A です

言ってみよう　別冊3

こんなふうに

別冊のイラストに○がついていますが、これを反対にした練習をしています。全部ではなく、例えば、①や⑤では、「土曜日は日曜日より人が少ないです」「ニコニコマートはハッピーマートより近いです」というのも練習ができます。口頭練習が増やせて、また形容詞の復習もできることになりま

す。

言ってみよう　本冊3

実は、ここの例から③までのキューはつながっています。（場所、交通手段、お店、メニューという流れ）②の「さくら」「もみじ」は店の名前です。③のＡコースとＢコースの違いは、イラストにあります。Ａコースの品数は３つですが、Ｂコースの品数は５つです。クラスに合わせて、「今度の週末、一緒に食事に行きませんか」からこの【言ってみよう】3を始めることもいいと思います。①の練習が終わって、②を始める際に、教師からのちょっとした問いかけがあると、練習がもっと楽しくなるでしょう。

やってみよう

下にある a～ｃのお店の中で、どこへ行くかを選ぶ問題です。ＣＤを聞く前に、a～ｃのイラストとその店の紹介を見て、どんな特徴があるかを一緒に確認しておくのもいいと思います。

ＣＤを聞いたあとで、友達が何が好きかを聞くときにどんな質問があったか（アンナさんは食べ物で何が好きですか）、どうしてｃの店へ行くことにしたか（この店はその店より安いですよ）などに一緒に確認できるといいと思います。

■ ペアで話します。ＣＤを聞いたあとで、学習者たちが a～ｃのイラストの中の店のどこへ行くか、相談をします。教科書にある a～ｃのイラストを使っても十分練習はできますが、学習者が住んでいるところのお店を使うと、もっとリアリティが増して、誘うのも楽しくなると思います。

こんなふうに

教科書は寿司屋が１軒だけなので、教室で練習するときには寿司屋を追加してみました。下記のようなシートを作って、教室で使ってみました。

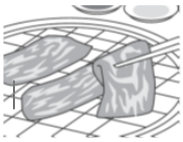
a　店の名前：「うめや」

すし食べ放題
90 分　　2200 円
東京でいちばん有名な店
新宿駅から歩いて 15 分

b　店の名前：「ＢＢＱ」

焼き肉食べ放題
90 分　　1800 円
料理もおいしい！
新宿駅から歩いて 5 分

c　店の名前：「花火」



焼き肉食べ放題
90 分　　1200 円
ケーキもおいしい！
新宿駅から歩いて 10 分

d　店の名前：「ひな寿司」

すし食べ放題
90 分　　女性 3661 円
　　男性 4309 円
新宿三丁目駅から歩いて 1 分
新鮮なお寿司！

「ロールプレイの練習はどうやってしたらいいですか」というご質問をときどき聞きます。

練習の仕方はいろいろあると思うのですが、その中の一つの方法としては、タスクを理解したあと、ペアで練習をします。学習者たちが話している間、教師は練習がスムーズに行っているかどうか、教室の中を「ぐるぐる」回ってその様子を見て（聞いて？）います。早く終わってしまったペア、うまく言えなくて困っているペア、タスクを理解していないまま話しているペア、などがあるかもしれません。教師が「ぐるぐる」回ることで、そのようなペアを発見でき、適切なアドバイスができると思います。ペアでの練習が終わったあと、個々のペアでどんな会話になったか発表するのも一つの方法です。授業のペースの関係などで、全員が発表する時間が取れない場合は、教師が「ぐるぐる」回っている中で、これは全体でシェアをしたらいいなどの会話があったら、そのペアに発表してもらうのもいいと思います。

正確性を高めるために、話した（話しながら）会話を書いて確認するという方法もあります。書いて終わりにするのではなく、学習者が書いたものを集めて教師が添削をし、正確性を磨けるようにすることも大切ですね。

『たのしい読みもの５５』の「日本で暮らす７　ケーキの食べ放題特集」（p. 22）では、雑誌にあるケーキ食べ放題を初級用に少し書き直したものが紹介されています。これを見たあとで、実際の雑誌やインターネットのページを見るのもいいと思います。

こんなふうに

学校から行けそうな食べ放題のお店をピックアップして、お店の情報を下記のようにアレンジしてみました。学習者たちは楽しそうにこの情報を見ながら、クラスメイトを誘っていました。授業の翌週には、「私たちは一緒に食べ放題に行きました！」という報告があって、びっくりしました。練習だけに終わらず、学習者たちの生活とつながったのがうれしかったです。

ビタースイーツ・ビュッフェ　新宿
http://pscoop.jp/bsb/shinjuku/

東京都新宿区新宿3-38-1ルミネエスト新宿店8階

平日（月～金）　11：00～23：00
週末（土日）　10：30～23：00
定休日　なし
料金　ランチ（11：00～17：00）1860円
ディナー（17：00～23：00）2580円
＊ドリンクコーナーやサラダコーナーもあります！

ムフタール・ドゥ・パリ
http://mouffetard.jp/cakeviking.html
東京都新宿区西新宿6-5-1新宿アイランドアトリウム　地下1階

平日（月～金）　90分　17：00～21：00
週末（土日）　70分　11：00～21：00
定休日　なし
料金　1790円
＊サンドイッチやパスタなど料理も食べ放題です。
＊フリードリンク付き

スイーツパラダイス　新宿東口店
http://www.sweets-paradise.jp/guide/

東京都新宿区新宿3-26-6　新宿ＦＦビルＢ１Ｆ

平日（月～金）　90分　17：00～21：00
週末（土日）　70分　11：00～21：00
定休日　なし
料金　1530円
＊パスタやサラダ、スープなどもあります。
＊ドリンクバー付き

お役立ち情報

学習者が三つ以上の比較と二つのものの比較のときに使われる疑問詞をよく混乱するので、このようなプリントで整理をしてみました。

1　＿＿＿＿で＿＿＿＿がいちばん～ですか。

1．食べ物で**何**がいちばん好きですか。【物】

2．家族で**だれ**がいちばん元気ですか。【人】

3．東京で**どこ**がいちばんにぎやかですか。【場所】

4．一年で**いつ**がいちばん忙しいですか。【時間】

2　＿＿＿＿と＿＿＿＿とどちらが～ですか。

1．ケーキとお酒と**どちら**が好きですか。【物】

2．お母さんとお父さんと**どちら**がおもしろいですか。【人】

3．北海道と沖縄と**どちら**がいいですか。【場所】

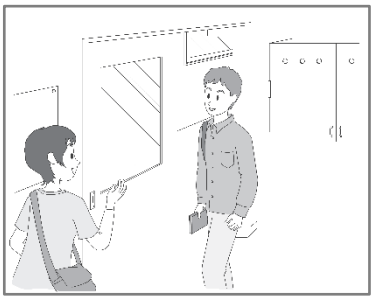
4．今週と来週と**どちら**がひまですか。【時間】

ＳＴ３　約束

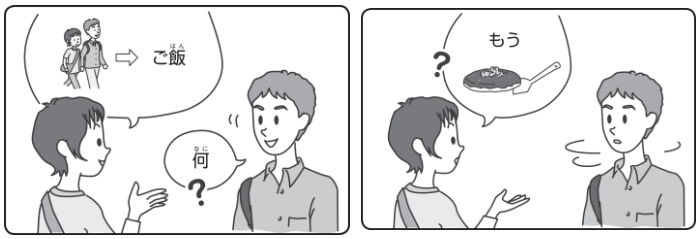
できること：会う場所や時間などを約束することができる。

チャレンジ！

状況イラスト：日本語学校の授業が終わり、パクさんはダニエルさんを食事に誘っています。



1



コマイラスト：パクさんはダニエルさんを食事に誘っています。パクさんはダニエルさんがお好み焼きを食べたかどうかについて聞いています。

人を誘うとき、相手がそのことをしたことがあるかなあと、考えることはないでしょうか。パクさんもそのような気持ちでダニエルさんに聞いています。食事に誘って、何を食べるか提案するときに、ダニエルさんが食べたことがあるなら、他の物を食べようとして、「もうお好み焼きを食べましたか」と聞いています。

「お好み焼き」が何か知らない学習者がいるかもしれません。授業では、写真などを用意しておくといいですね。食べたことがある学習者が「おいしかったです」などというコメントを言ってくれたら、そこから【チャレンジ！】へつなげていくのも一つの方法です。

さらに【チャレンジ！】のあとで、

Ｔ：Ｌ１さんはもうお好み焼きを食べましたか
Ｌ１：はい。
Ｌ２：いいえ。
Ｔ：Ｌ１さんはもうお好み焼きを食べました。
　　Ｌ２さんはまだです。

のように聞くのもいいでしょう。【チャレンジ！】のあとで、板書をするとき「もう～ました」のように、動詞が「～ました」の形になることに要注意です。

学習項目　もうＶましたか（経験）　まだです

言ってみよう　本冊1

1では別冊の練習はありません。【チャレンジ！】のあと、すぐに本冊の練習をするのが学習者にとって少し負担であるようでしたら、学習者に合わせた練習を本冊の前に行ってください。ここでは　　マークがあるので、練習が一通り終わったあとで、クラスメイトを誘うように言ってください。

こんなふうに

A：もう＿＿＿＿＿＿ましたか

B1：はい、＿＿＿＿＿＿ました。　B2：いいえ、まだです。

キュー：

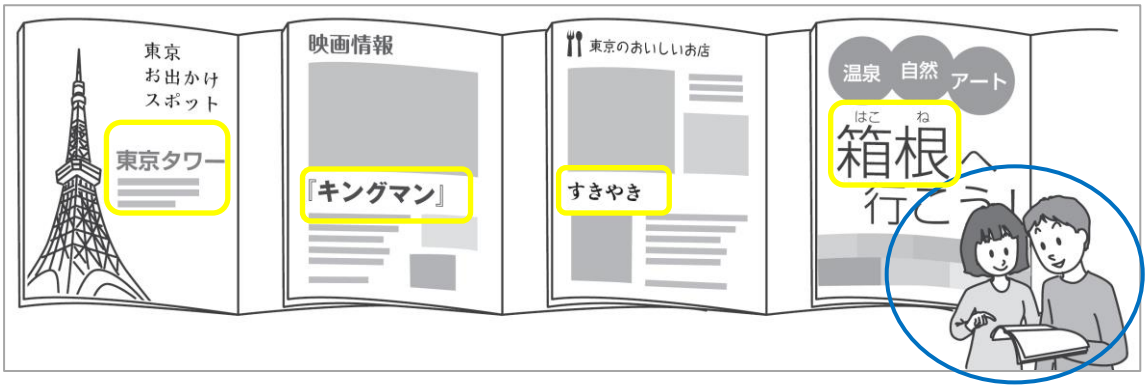
スカイツリー・行きます

キューとして文字のキューと写真を用意しました。Aの部分にキューを使って、ペアのBに聞くという練習をしてから、本冊の練習に入ってみました。

言ってみよう　本冊1

ここではイラストの右にいるAが雑誌を見ながら、Bを誘っている会話です。

２番目のAは、雑誌の中にある下の黄色で囲ってある部分を用いて誘います。Bの答えが「はい、~ました」の場合、代替案を出す会話になっています。学習者が難しそうだったら、教師が選択肢を考えておくといいと思います。



やりとりの最後にあるBの「そうしましょう」はここが初出です。「そう」がAが言った

内容を指しているということを紹介してください。

チャレンジ！

3

コマイラスト：ダニエルさんはお好み焼きをまだ食べていないということを知ったパクさんは、新宿にあるお好み焼きへ行こうと提案します。このお店はおいしいと、ダニエルさんに教えます。

ダニエルさんはお好み焼きをまだ食べたことがないことを知ったパクさんは、お好み焼きを食べに行こうと誘います。【チャレンジ！】の会話のやり取りをする際に、パクさんはお好み焼きを食べた、ダニエルさんはまだということに注目してください。「私」が知っていて、相手が知らないことを教えるときに、文末に「よ」をつけると、言い切りならずに、感じよく教えたいい気持ちが伝わるということを知ってもらいたいと思っています。

学習項目 ～よ

言ってみよう 本冊2

ここでは ☺ マークがあります。練習のあとで、ぜひ、学習者がどんな情報を持っているかを聞いてみましょう。「へえ！知らなかった」というような情報が聞けるチャンスです。

チャレンジ！

3

コマイラスト：新宿のお好み焼きに行くことになった二人は、いつ行くか曜日を決めています。

ダニエルさんが「いつ行きますか」と聞いたのに対して、パクさんが土曜日に行くことを提案しています。この「いつ行きますか」という問いかけに対して、「土曜日がいいです」というのか、「土曜日はどうですか」というのかでは、ずいぶん印象が変わってきてしまいます。この「～はどうですか」（提案）は、約束の会話を気持ちよくする上でとても重要な学習項目です。

学習項目　～はどうですか

言ってみよう　本冊3

教科書にキューだけではなく、いろいろなキューで相手を誘う練習ができます。

チャレンジ！

4

コマイラスト：ダニエルさんとパクさんはお好み焼きを食べに行く日にちを決めたあと、会う時間を決めています。

【チャレンジ！】では、「６時はどうですか」「はい、６時、わかりました」というやり取りが再現されると思います。ＣＤを聞くときに、ダニエルさんの「６時はどうですか」に対して、パクさんがどう答えているかに注目するように言ってください。

「はい」と「わかった」は自分が理解したことを表しており、内容を相手に確認するために「ね」が用いられているということが、学習者の理解に結びつくといいと思います。ＣＤを聞く前に、どうしてパクさんはもう一度「６時」と言っているかなども聞くといいと思います。

学習項目　～ね（確認）

【チャレンジ！】は、学習者が「こんなとき日本語で何と言うかを考えて、自分の知っている日本語で話す」ことにチャレンジをするところです。流れとしては、話したことにチャレンジをしたあとで、ＣＤを聞くのですが、そのまますぐにＣＤを聞くのでは、学習者はどこに気づいたらいいのか難しいところです。そこで、教師による「しかけ」が必要となります。【チャレンジ！】をするときに、イラストのどこに注目するか、日本語で話してからＣＤを聞く間に、どのような問いかけをするか、などなどで、学習者の「気づき」は全然変わってきます！

言ってみよう　本冊4

最初のＡには　マークがあります。キューを参考にどんな疑問詞を用いるかを考えながら、練習をしてください。

やってみよう

ＣＤを聞いて、パクさんは何をするか、いつ、どこで会うかを聞き取るタスクです。教科書にも書いてある「今日は１０日月曜日です」をＣＤを聞く前に確認をしてください。そして、右側の手帳の所も示すとわかりやすいと思います。

聞いたあとで、答えを選ぶときのヒントになった言葉や表現などを一緒に確認してください。

■　ST３のゴールは「会う場所や時間などを約束することができる」なので、タスクをする際には、誘うだけではなく、「どこで会うか」「何時に会うか」までを話すようにしましょう。ポスターの日付を実際にやってみようをする時期に変えて使ってください。イラストは、チャレンジや言ってみようのイラストと同様に、『教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の中に入っています。

教科書には４枚のポスターのイラストがありますが、もちろんこれだけではなく、授業を行っている際に上映されている映画や、イベントのポスター、レストランのチラシなどを見ながら、誘うことができるともっと楽しくなります。

できる！

この課の【できる！】は、「行きたいイベントを探して、友達を誘いましょう」です。６課のＳＴ１は「一緒に行きませんか」、ＳＴ２は「どちらがいいですか」、ＳＴ３は「約束」ですから、これまでやってきたことを全部使って、友達を誘いましょうと、勧めてください。教科書に【できる！】の流れが簡単に書かれていますので、これを参考にしながら、教室の学習者に合わせた方法で行うのがいいと思います。

学習者によっては、インターネットで情報を得る際、情報量の多さにとまどうこともあるかもしれません。教師が用意した、情報を整理したものを使ってクラスメイトなどを誘うことができたらいいと思います。

この「できる！」のあとで、授業で見た情報を使って、クラスメイトと一緒に約束して食べに行ったり、イベントに参加したりしたという話を聞きました。約束してグループで出かけることで、クラスメイトとの関係がより近くなったり、教室の外への関心も高くなったりするようです。このように教室の中だけでなく、学習者の「できる！」につながるといいですね。実践例がサイト「できる日本語ひろば」に紹介されています。よかったらご覧ください。

http://www.dekirunihongo.jp/?p=320

話読聞書

ここでのキーワードは「一緒に」です。一緒に行きたいところ、食べたい物、したいことを学習者に紹介してもらいましょう。教科書は「お好み焼き」の紹介がされていますが、ここでは、食べ物だけではなく、自分が好きな場所についても紹介することができます。教科書の右にある吹き出しを参考にしながら、学習者とやり取りをしていきましょう。教師と学習者だけのやり取りではなく、他の学習者にも質問をするようにうながしていくと、教室の中で自然と相手の話を聞きたくなる雰囲気が生まれてくると思います。

Ｔ　：皆さんは友達と一緒に遊びに行きたいとき、どこへ行きますか。
Ｌ１：日本で？
Ｔ　：ああ、日本で、国で、どちらもいいですよ。皆さんのおすすめを紹介してください。
Ｌ２：おすすめは何ですか。
Ｔ　：おすすめは、皆さんがこれはいいです、これはおいしいです、と思う物やところです。（ジェスチャーなどを交えながら）
Ｌ２：ああ。
Ｌ３：私のおすすめは淡水です。

Ｔ　：たんすい？
Ｌ３：淡水は台北の北です。きれいなところです。
Ｌ１：何がありますか。
Ｌ３：いろいろな食べ物の店があります。
Ｌ１：へえ、何がいちばんおいしいですか。
Ｌ３：ユィーワンタンです。魚のスープです。
Ｌ１：へえ
～～～～～～～～～～

この後は、グループごとに、それぞれのおすすめの紹介をする話をしていきます。話し終わったら、どんな話が出たか共有をしましょう。時間の関係で、全員が話すことはむずかしかったら、そのグループで出た話の中で、これはぜひ他の人に聞いてもらいたいという話をした人が発表するということもできるでしょう。

こんなふうに

授業で話したことが書けるようなシートをこのように作ってみました。学習者の話を聞いたあとで、教師もおすすめを紹介したので、そのときに話したことを書きました。

「一緒に！」

皆さんは甘い物が好きですか。東京にたくさんおいしいお店があります。「竹むら」は古い店です。そして、有名な店です。東京の神田にあります。

「竹むら」の食べ物で揚げまんじゅうがいちばん有名です。１つ４７０円です。少し高いですが、おいしいです。私はこの揚げまんじゅうが好きです。今度、一緒に食べに行きませんか。